

2011年度のロジスティクス産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics

流通経済大学流通情報学部では、2008年度、2009年度に経済産業省から委託され、検討した「産学連携人材育成事業（サプライチェーン・ロジスティクス人材育成プログラム）」の結果を受けて、2010年度からロジスティクス産学連携プログラムを正式に立ち上げ、今年度が2年目です。プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されており、客員講師は50名、寄付講座関連の講師は27名となっております。

ロジスティクス産学連携プログラムとして、学部で「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の6科目を開講しています。さらに関連する産学連携科目として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。ここでは、学部で開講しているプログラムの8科目について、2011年度の実施状況の概要をご報告させていただきます。

① 「ロジスティクス実践講座」の2011年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクス・システムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考え

ていくことを目標としています。また、環境問題あるいは安全・安心といった新たな問題についても学びます。通年科目であり、龍ヶ崎、新松戸の両キャンパスに講師に来ていただくかたちで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。

② 「物流マネジメント実践講座」の2011年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスで、秋学期は龍ヶ崎キャンパスで講義をしていただきました。各回のテーマ、講師は表3、表4のとおりです。

③ 「国際物流実践講座」の2011年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に2単位科目として開講しました。新松戸キャンパスで講義をしていただきました。各回のテーマ、講師は表5のとおりです。

ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

表1 「ロジスティクス実践講座－龍ヶ崎」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	物流概説	日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷－1	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷－2 東日本大震災における物流	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	物流改善のポイントは－1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
6	物流改善のポイントは－2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
7	都市内物流の効率化について	日通総合研究所 大島弘明氏
8	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム 藤田光樹氏
9	ロジスティクス分野における環境政策の動向	みずほ情報総研 秋山浩之氏
10	サプライチェーンマネジメント概論	菱食 楠堂昌純氏
11	ロジスティクスと環境－1	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
12	ロジスティクスと環境－2	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
13	春学期まとめ	流通経済大学 矢野裕児
14	秋学期ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
15	調達継続計画及び事業継続計画	日本サプライマネジメント協会 上原修氏
16	船会社の物流事業について 東日本大震災とSCM/日本経済の問題点	オーシャントランス 辰巳順氏
17	商社にとって「物流」とは	アジア住友商事 河野達也氏
18	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス 一山幸市氏
19	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送 結束洋氏
20	Global Logistics Provider	日本通運 渡邊潤氏
21	ニチレイグループのロジスティクス	ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
22	味の素グループのロジスティクス	味の素物流 恒吉正浩氏
23	SCMとこれからの物流企業に求められる課題	ハウス物流サービス 早川哲志氏
24	物流現場の活性化について	あんしん 雨宮路男氏
25	国分の物流における環境負荷低減の取り組み	国分 山田英夫氏
26	講義のまとめ	流通経済大学 矢野裕児

表2 「ロジスティクス実践講座－新松戸」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ロジスティクス実践講座ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	物流概説	日本ロジスティクスシステム協会 石井徹郎氏
3	企業のロジスティクス戦略の変遷－1	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
4	企業のロジスティクス戦略の変遷－2 東日本大震災における物流	日通総合研究所 廣瀬吉英氏
5	物流改善のポイントは－1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
6	物流改善のポイントは－2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
7	都市内物流の効率化について	日通総合研究所 大島弘明氏
8	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム 藤田光樹氏
9	ロジスティクス分野における環境政策の動向	みずほ情報総研 秋山浩之氏
10	サプライチェーンマネジメント概論	菱食 楠堂昌純氏
11	ロジスティクスと環境－1	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
12	ロジスティクスと環境－2	ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
13	春学期まとめ	流通経済大学 矢野裕児
14	菓子物流のネットワーク価値の拡大	スナックフードサービス 一山幸市氏
15	ニチレイグループのロジスティクス	ロジスティクス・ネットワーク 立川哲二氏
16	調達継続計画及び事業継続計画	日本サプライマネジメント協会 上原修氏
17	グリーン物流の推進 東日本大震災	第一貨物 大山茂夫氏
18	味の素グループのロジスティクス	味の素物流 恒吉正浩氏
19	JR貨物の現状	日本貨物鉄道 神立哲男氏
20	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送 結束洋氏
21	国分の物流における環境負荷低減の取り組み	国分 山田英夫氏
22	フード業界 企業間電子商取引 (BtoB) プラットフォーム「FOODS Info Mart」	インフォマート 藤田尚武氏
23	SCMとこれからの物流企業に求められる課題	ハウス物流サービス 早川哲志氏
24	変化に対応する花王のSCM	花王 山口裕人氏
25	物流現場の活性化について	あんしん 雨宮路男氏
26	講義のまとめ	流通経済大学 矢野裕児

④ 「情報システム実践講座」の
2011年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素

技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワークの設計・開発の手法についても学びます。

表3 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	講座受講に必要な知識①	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識②	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室 中田愛子氏
4	重量品輸送（道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設）	日本通運 福島茂明氏
5	経営戦略の中での物流の位置づけ/役割	金方堂運輸 松本有司氏
6	3PLの役割と実例	川崎陸送 樋口恵一氏
7	内航海運のいろいろ	海上技術安全研究所 加納敏幸氏
8	ロジスティクス分野のIT活用事例	野村総合研究所 足立研二氏
9	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸 小林一夫氏
10	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道 木林徳彦氏
11	市場流通の動向と市場物流の改善方向	コンサル アグリ 藤井憲雄氏
12	TVドキュメントに見る物流	流通経済大学 小野秀昭
13	講義のまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表4 「物流マネジメント実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	講座受講に必要な知識①	流通経済大学 小野秀昭
2	講座受講に必要な知識②	流通経済大学 小野秀昭
3	トラック運送産業の概要	運輸・物流研究室 中田愛子氏
4	宅配便の開発と成長過程	ヤマト運輸 小林一夫氏
5	3PLの役割と実例	川崎陸送 樋口恵一氏
6	経営戦略の中での物流の位置づけ/役割	金方堂運輸 松本有司氏
7	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道 木林徳彦氏
8	重量品輸送（道なき山奥へ風力発電輸送、真夜中の新幹線輸送、海外の巨大プラント建設）	日本通運 福島茂明氏
9	メーカーと物流子会社の関係・役割	味の素物流 恒吉正浩氏
10	内航海運の産業の実例	海上技術安全研究所 間島隆博氏
11	ロジスティクス分野のIT活用事例	野村総合研究所 足立研二氏
12	市場流通の動向と市場物流の役割	コンサル アグリ 藤井憲雄氏
13	講義のまとめ	流通経済大学 小野秀昭

表5 「国際物流実践講座」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	電気機械製造業者の国際物流管理（国際物流の動向、ロジスティクス・マネジメントの現状と課題）	東芝物流 手塚了嗣氏
3	電気機械製造業者の国際物流管理（海外展開事例、グローバル・ロジスティクスの事例）	東芝物流 手塚了嗣氏
4	商社にとって「物流」とは	アジア住友商事 河野達也氏
5	船会社の国際物流戦略（外航海運の動向、海上輸送の仕組み、グローバル競争）	日本郵船 吉田芳隆氏
6	船会社の物流事業について	オーシャントランス 辰巳順氏
7	航空会社の国際物流戦略（国際航空貨物輸送の動向、航空貨物輸送戦略）	全日本空輸 片岡和民氏
8	航空会社の国際物流戦略（グローバルサプライチェーンにおける航空貨物輸送、国際物流戦略）	全日本空輸 片岡和民氏
9	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運 廣島秀敏氏
10	航空フォワーダーの国際物流戦略	日本通運 合屋隆司氏
11	SCM戦略を背景から理解する	日本通運 寺田哲也氏
12	国際ロジスティクスシステム	流通経済大学 矢野裕児
13	講義のまとめ	流通経済大学 矢野裕児

半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表6、表7のとおりです。

⑤ 「ロジスティクス企業訪問講座」の2011年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を訪問することによって、学生が実感として理解することを目標としています。2011年度は11箇所を訪問し、現場でロジスティクス担当者が概説し、物流現場を実際に見学しました。半期科目で、企業訪問を実施することから、2011

年度は、夏季休暇中の9月に集中講義で、開講しました。各回のテーマ、訪問先は表8のとおりです。

⑥ 「ロジスティクス改善演習」の2011年度の実施状況

「ロジスティクス改善演習」では、物流部門の現場で発生する課題を題材として取り上げ、現状の問題点の整理を行い、各種手法を用いて改善案を検討します。この演習を受講することにより、物流システムに関する理解を深め、分析手法を習得するとともに、分析能力や改善案を提案できる能力を習得することを目標としています。半期科目として、新松戸キャンパスで実施し、また物流の現場を

表6 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	外資系企業での経験「物流子会社からの脱皮」	飛天ジャパン 傘義冬氏
3	物流情報システムの基本的枠組み	日本ロジスティクスシステム協会 吉本隆一氏
4	ロジスティクスを支える情報システム	日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
5	電子自治体推進の方向性について	地方自治情報センター 井上賀博氏
6	物流センターのシステム構築	日通総合研究所 要藤洋文氏
7	パレットにおけるRFIDの利用	日本パレットレンタル 永井浩一氏
8	物流情報のタイムリーな収集～蓄積～活用	日本ユニシス 澤上多恵子氏
9	TMSの現状と今後の課題	光英システム 葦津嘉雄氏
10	オペレーションズ・リサーチと物流への応用	フレームワークス 高井英造氏
11	電子タグを用いた物流の高度化	MTI 粟本繁氏
12	ソフトウェア開発の現場－プロジェクト・マネジメントの現状と問題点	日本アルゴリズム 岩本茂子氏
13	講義のまとめ	流通経済大学 増田悦夫

表7 「情報システム実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスを支える情報システム	日本ビジネスクリエイト 後藤一孝氏
3	外資系企業での経験「物流子会社からの脱皮」	飛天ジャパン 傘義冬氏
4	物流情報システムの基本的枠組み	日本ロジスティクスシステム協会 吉本隆一氏
5	物流情報のタイムリーな収集～蓄積～活用	日本ユニシス 澤上多恵子氏
6	電子自治体推進の方向性について	地方自治情報センター 井上賀博氏
7	電子タグを用いた物流の高度化	MTI 粟本繁氏
8	パレットにおけるRFIDの利用	日本パレットレンタル 永井浩一氏
9	物流の効率化とこれからの取り組み	日通総合研究所 要藤洋文氏
10	オペレーションズ・リサーチと物流への応用	フレームワークス 高井英造氏
11	TMSの現状と今後の課題（TMS、ITS、輸配送管理、配送計画、運行管理）	光英システム 葦津嘉雄氏
12	ソフトウェア開発の現場－プロジェクト・マネジメントの現状と問題点	日本アルゴリズム 岩本茂子氏
13	講義のまとめ	流通経済大学 増田悦夫

理解するために物流企業も見学します。各回の内容は表9のとおりです。

⑦ 「日本通運寄付講座」の2011年度の実施状況

「日本通運寄付講座」は、「21世紀の物流と今後の展望」をテーマとして、日本通運および関連会社の役員を中心に招き、各事業部、関連会社の業務内容、さらに企業で働くこととは、企業が求める人材など広く学びます。

通年科目であり、新松戸キャンパスで講義をしていただき、龍ヶ崎キャンパスは遠隔授業によって開講しました。各回のテーマ、講師は表10のとおりです。

⑧ 「全国通運連盟寄付講座」の2011年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、JR貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招

表8 「ロジスティクス企業訪問講座」の2011年度の実施結果

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2	流通経済大学 矢野裕児、洪京和
3	家電メーカーの物流センター見学	東芝物流
4	食品メーカーの物流センター見学	ハウス食品首都圏統括支店
5	メーカーから物流業務を委託された物流センターの見学	十和運送
6	小売店（マツモトキヨシ）向け物流センターの見学	丸和運輸機関
7	小売店（ドン・キホーテ）向け物流センターの見学	センコー
8	オンラインショッピングの物流センターの見学	ファンケル
9	物流改善事例の説明、物流機器の見学	トヨタL&Fカスタマーズセンター
10	フェリーターミナルの見学	オーシャントランスフェリーターミナル
11	国際航空貨物専用の物流センターの見学	日本通運東京航空支店
12	鉄道貨物駅の見学	東京貨物ターミナル駅
13	江戸時代から昭和までの物流の歴史を紹介	物流博物館

表9 「ロジスティクス改善演習」(*)の2011年度の実施結果

回	項目	内容
1	ロジスティクス改善演習ガイダンス	講義の概要、目的、評価方法の理解、日程および訪問場所の確認
2	物流システム見学1	トヨタL&Fを訪問し、最新の物流システムを見学し、物流改善に関する講義を受講
3	物流システム見学2	トヨタL&Fを訪問し、最新の物流システムを見学し、物流改善に関する講義を受講
4	物流施設見学1	原木インターナショナルロジスティクスタウンを訪問し、物流設備や保管在庫などを見学
5	物流施設見学2	十和運送の物流施設を訪問し、物流設備や保管在庫などを見学
6	物流施設見学3	ファンケル関東物流センターを訪問し、物流設備や保管在庫などを見学
7	物流シミュレーターRALC・入門1	物流シミュレーターRALCの基本操作を習得
8	物流シミュレーターRALC・入門2	物流シミュレーターRALCの基本操作を習得
9	RALCによる自動倉庫設備設計1	自動倉庫をもつ物流施設を想定し、RALCシミュレーター上でシミュレーションモデルを作成
10	RALCによる自動倉庫設備設計2	自動倉庫をもつ物流施設を想定し、RALCシミュレーター上でシミュレーションを実施
11	RALCによるラック配置設計1	物流施設内におけるラックの配置決定を行うためのRALCシミュレーションモデルを作成
12	RALCによるラック配置設計2	改善案を作成し、RALCモデルによりシミュレーションを行い、改善案を評価
13	RALCによるラック配置設計3	レポート作成
14	まとめ	

(*) 講師 流通経済大学 片山直登

表10 「日本通運寄付講座」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 吉村章、矢野裕児
2	競争が激化する引越市場	引越営業部 鎌田良三氏 ビデオ
3	国際航空貨物の事業戦略	航空事業部 藤居憲二氏
4	海上貨物輸送の事業戦略	海運事業部 花岡英夫氏
5	旅行産業の役割りと将来展望	旅行事業部 大竹信男氏
6	重機建設事業～超重量物・かつ大貨物を運ぶ	重機建設事業部 福島茂明氏
7	美術品輸送～世界にひとつの作品を運ぶ～	美術品事業部 松本晃氏
8	警備輸送事業～安全と安心の限りなき追求～	警備輸送事業部 荒内隆氏
9	日本通運の海外戦略 ～グローバルロジスティクス企業を目指して～	海外企画部 重松秀明氏
10	物流と環境問題	日通総合研究所 麦田耕治氏
11	物流におけるIT（情報システム）の活用	IT推進部 野口雄志氏 ビデオ
12	グローバル企業への国内外ロジスティクスソリューションの提供	グローバルロジスティクスソリューション部 小川正志氏 ビデオ
13	グローバル経済化がもたらすロジスティクス トレンドの変化	営業企画部 安藤伸樹氏
14	競争が激化する引越市場	引越営業部 富田有一氏
15	企業が求める人材とは	総務・労働部 秋田進氏
16	物流業におけるコンプライアンス	業務部 佐久間文彦氏
17	物流におけるIT（情報システム）の活用	IT推進部 野口雄志氏
18	グローバル企業への国内外ロジスティクス ソリューションの提供	グローバルロジスティクスソリューション部 増田貴氏
19	米国の主要都市と物流について	日通総合研究所 田阪幹雄氏
20	ロジスティクスにおける調達（商流）機能	日通商事 磯野聡氏
21	トラック運送事業（特別積合せ事業）の概要	日本トラック 川目俊夫氏
22	内航海運～国内物流の大動脈として～	日本海運 佐雑裕一氏
23	ロジスティクスファイナンス ～物流サービスの新たな展開～	日通キャピタル 山崎広行氏

表11 「全国通運連盟寄付講座」の2011年度の実施結果

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	物流と通運の歴史	物流博物館 玉井幹司氏
3	地球環境問題とモーダルシフト	流通経済大学 矢野裕児
4	J R貨物に関する知識（1） 社会に貢献する鉄道貨物輸送	J R貨物営業部 姫野健士氏
5	J R貨物に関する知識（2） 貨物列車の輸送のしくみ	J R貨物運輸部 安田晴彦氏
6	鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの実際（1） 日本通運における鉄道貨物輸送の現状	日本通運 杵淵氏
7	鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトの実際（2） センコーにおける鉄道貨物輸送の現状	センコー 八巻達也氏
8	企業物流の中の鉄道貨物輸送（1） アサヒグループ物流の中の鉄道貨物輸送について	アサヒロジ 折田房治氏
9	企業物流の中の鉄道貨物輸送（2） ダイキン工業の鉄道輸送	ダイキン工業 西尾元志氏
10	鉄道コンテナ輸送の今後	通運連盟 安原敬裕氏
11	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 矢野裕児

き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで講義をしていただきました。各回のテーマ、講師は表11のとおりです。下記の講義以外に夏休み期間中に、事前講習として東

京貨物ターミナル駅の見学を実施しました。